



福祉おやべ

こだま

第201号

2020年1月発行

社会福祉法人
小矢部市社会福祉協議会

〒932-0821
富山県小矢部市鷺島15番地
TEL (0766) 67-8611
FAX (0766) 67-4896
<https://www.oyabe.or.jp>

『野菜や果物をどうぞ。』



～ 石動青葉保育園 寄付 ～

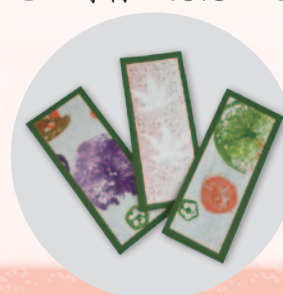
もくじ

石動青葉保育園寄付	1
新年のご挨拶、「フードドライブおやべ」	2
善意作品頒布会、障害者理解促進研修・啓発事業、ファミリー・サポート・センター研修会	3
3市合同施設ボランティア受け入れ担当職員研修会、ボランティア連絡協議会だより、エコキャップ回収	4
生活福祉資金貸付制度、脳トレの時間です♪	5
地区社協紹介だより【南部地区社会福祉協議会】	6
福祉作文【中学生の部】、善意の窓	7
ご案内【小矢部市民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、地区社協共同研修会、介助ボランティア養成講座】、つぶやき、ぶち・手話コーナー	8

昨年11月21日（木）、石動青葉保育園の園児の皆さんより、小矢部善意銀行へ野菜や果物、手作りカードのご寄付をいただきました。

毎年、『収穫感謝日』に家から野菜や果物を持ち寄り、秋の豊かな実りを喜び、神様の恵みに感謝をこめて礼拝した後、「おじいちゃんやおばあちゃんに届けてください。」とご寄付いただいています。

ご寄付いただいた野菜や果物、手作りカードは、市内の福祉施設を利用されている方々に美味しく召し上がっていただいています。





新年のご挨拶

小矢部市社会福祉協議会 会長 日光 久悦

皆様には、令和初となる新春を清々しい気持ちでお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

去年は、本会の地域福祉事業の取り組みに対し、多大なご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、日本の社会保障は自助・互助を基本としながら共助が補い、さらに公助が補完するという形で進められてきましたが、それは地域・家庭・職場といった共同体の提供する保障の機能を前提とするものでした。しかし、未婚率の上昇、単身世帯やひとり親世帯の増加など世帯構造の変化が顕著となってきた昨今、80代の親が、自立できない事情を抱える50代の子どもの生活を支え、社会から孤立する「8050問題」に象徴されるように、これまでの福祉制度で対応しきれない様々な問題が発生しています。

このような状況にあって、市民一人ひとりが「助け合い」の精神を、身をもって行動に移すことが求められており、地域で支え合うことの大切さを今一度確認し、ともに支え合う地域福祉社会の実現を目指すことが大切であります。

本会といたしましても、役職員が一体となって、明るい地域社会実現のために鋭意努力してまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

小矢部市社会福祉法人連絡会「フードドライブおやべ」を実施

昨年12月8日（日）、市総合保健福祉センターにおいて小矢部市社会福祉法人連絡会が、第2回目となる「フードドライブおやべ」を実施しました。

同連絡会は、市内9つの社会福祉法人から成り、その法人の職員から寄付をいただいた食品約1,000点を配布しました。



ご協力いただきました
各法人の職員の皆さん、
ありがとうございました。



今回は、45名の方が来場し、思い思いの食品を持ち帰りました。来場者からは、「本当にうれしいです。」「すごく助かります。」との声が寄せられました。

連絡会では、今後も地域における公益的な取り組みについて考え、実施していきます。

「フードドライブ」とは・・・

家庭で使い切れない食品を持ち寄り、地域の福祉等に役立てる取り組みです。



障害者理解促進研修・啓発事業 障害福祉サービス事業所トライ工房を紹介

昨年12月18日（水）に開催された「地域福祉連絡会」へ、障害福祉サービス事業所トライ工房の皆さんにお越しいただきました。

職員の方に、施設紹介と障がいのある方と関わることや関わり方などについてお話いただき、利用者の皆さんにコーヒーを提供していただきました。

会議に出席した地区社会福祉協議会の方々に、「トライ工房」とその利用者さんについて知っていただくとともに、障がいについて理解を深めていただく機会となりました。

障がいのある人もない人も、お互いに理解を深め、共に暮らしやすい社会の実現を目指していきたいですね。

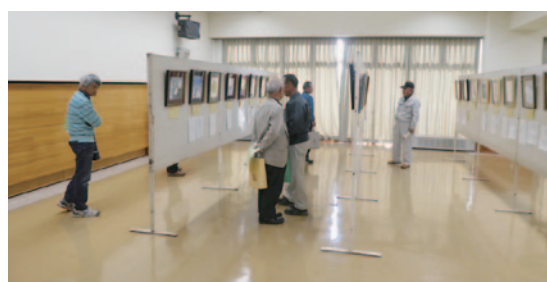


小矢部市善意作品頒布会のご報告

昨年11月8日（金）～11月11日（月）、市総合保健福祉センターにおいて小矢部市善意作品頒布会を開催しました。

多くの皆さまにご入札いただきました結果、738,000円の売上げがございました。この売上金は、地区社会福祉協議会の福祉事業に役立てられます。ありがとうございました。

また、出品にご協力いただきました先生方、ご来場いただきました皆さま、そして運営にご協力いただきました地区社会福祉協議会の皆さまに深く感謝し、心よりお礼を申し上げます。



小矢部善意銀行・小矢部市社会福祉協議会



小矢部市ファミリー・サポート・センター研修会

昨年12月3日（火）、市総合保健福祉センターにおいて、小矢部市ファミリー・サポート・センター研修会を開催しました。

「子どもの遊び」について、小矢部市子ども家庭支援センター員 上埜美津子氏よりご講義いただき、富山県児童クラブ連合会 事務局長 清水保夫氏からおもちゃ作りのご指導をいただきました。

また、「子どもの食生活と栄養」について、小矢部市こども課 栄養士 銀沢千里氏よりご講義いただきました。

参加した利用会員、協力会員の方々は、熱心に話を聞いたり、おもちゃ作りを楽しんだりしていました。



【上埜氏による講義】

乳幼児の発達と月齢に応じた遊び方を教えていただきました。身近なものを工夫することで、遊びの世界が広がりますね。

【清水氏による実習】

簡単にできる手作りおもちゃの作り方と遊び方を教えていただきました。参加者の皆さんが童心に返ったひとときでした。



【銀沢氏による講義】

体を構成する栄養素や食習慣、「食育」について教えていただきました。食べる楽しみや、作る大切さを再認識しました。

3 市合同施設ボランティア受け入れ担当職員研修会

昨年11月22日(金)市総合保健福祉センターにおいて、小矢部市、砺波市、南砺市の3市合同施設ボランティア受け入れ担当職員研修会を開催しました。

「ボランティアの方々や地域の皆さんと交流を図るために」、「ボランティアの方々に気持ちよくきていただくために」、「何かボランティアをしたい…という思いを受け止めるために」の3つのテーマのもと、グループに分かれて事例を検討しました。話し合う中で、他の施設でのいろいろな取り組みを聞いたり、情報を交換したりすることもできた研修会となりました。参加された職員の方々から、「今後のボランティア受け入れの参考にしたい。」という声が多くありました。



ボランティア連絡協議会だより

～ 令和元年度 小矢部市ボランティア連絡協議会研修会のご案内 ～

本年度の視察研修会を下記の日程にて開催いたします。

日 時：令和2年3月9日(月)
9:00～16:00

場 所：射水市方面
※詳細については、お問合せ下さい。

ボランティア連絡協議会に加入しませんか？

小矢部市ボランティア連絡協議会では、加入していただけるボランティア団体・個人ボランティアの方を募集しています。

会員同士の交流や情報交換などを通してつながりを作り、ボランティア活動の推進や発展を目指して活動しています。

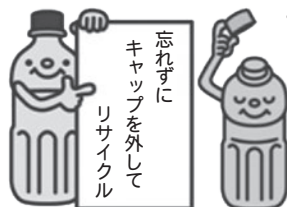


【申込み・問合せ】
小矢部市ボランティアセンター
TEL 67-8611

エコキャップを回収しています

小矢部市ボランティアセンターでは、エコキャップを回収しています。

エコキャップ回収は、『再利用できるものを集めて社会のために役立てる』身近なボランティア活動です。



～ 注意とお願い ～

注
意

- ・集めているのは、**ペットボトル飲料のキャップのみ**です。
- ・エコキャップは、軽く水洗いしてください。
- ・シールなどが貼ってあるものは、はがしてください。

ペットボトルキャップ以外のものは混じっていませんか？
もう一度、確認をお願いします。

生活福祉資金貸付制度のご案内

生活福祉資金貸付制度は低所得世帯、障害者または高齢者の属する世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立を図り、安定した生活ができるようにすることを目的とした制度です。

総合支援資金

【貸付対象】

失業等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのための継続的な相談支援（就労支援、家計指導等）と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付けを行うことにより自立が見込まれる世帯。

福祉資金・教育支援資金

【貸付対象】

- ① 低所得世帯
資金の貸付けにあわせて必要な支援を受けることにより、独立自活できると認められる世帯であって、必要な資金の融通を他から受けることが困難な世帯（所得制限あり）。
- ② 障害者世帯
身体障害者手帳などの交付を受けているものの属する障害者世帯。
- ③ 高齢者世帯
日常生活上療養または介護を要する65歳以上の高齢者の属する世帯。

※ この貸付制度は、単なる金銭の貸付けではなく、借入相談から申込み、貸付け、償還中において、民生委員児童委員の相談支援や法に基づく自立相談支援事業等による支援を受けることを前提としています。



※ 他の債務の返済資金に充当する場合は、お貸しできません。

【問合せ】

小矢部市社会福祉協議会
TEL 67-8611

遊んで学んで脳いきいき!! **脳トレの時間です♪**

皆さんの脳の活性化を目指し、「おやべ脳トレクラブ」の皆さんから問題です。



問題

漢字を裏返したものが6つあります。この中に間違った漢字が1つあります。

どれでしょう？



1. 臨 2. 貫 3. 越 4. 武 5. 衆 6. 萌



地区社協紹介だより

南部地区社会福祉協議会を紹介します

－ 自助・互助・共助の社会づくりをめざして －

いよいよ当地区において、ケアネット活動に取組まねばならない事例が出てきそうな現状です。具体的には「ゴミ出し」ですが、去年は2例について検討いたしましたが、従前の身内、近所の援助、自分自身の奮起等で様子眺めということで落着きました。しかし時間の問題で取組みについては必至だと思います。

主 な 活 動 内 容

- いきいきサロン（年6回）
- 「やさしい心」訪問活動
- 赤い羽根共同募金活動
- 歳末たすけあい運動
- 三世代なかよし交流会
- お一人住まいご高齢者の集い（滝乃荘）
- 福祉もちつき集会（中部・北部・公民館共催）
- 左義長（中部・北部・公民館共催）
- 「いするぎ南部ふくし」発行

いきいきサロン



福祉もちつき集会



左 義 長





福祉作文を紹介します

小・中・高校生の最優秀作品を3回シリーズで掲載しています。

中学生の部

★最優秀★

人と接する

津沢中学校三年 嵯峨 楓菜

「私はコミュニケーションが苦手だ。」今までそう決めていました。他校に友達もあまりいなく人と接することが不得意でした。もっとひどかったことは、その不得意を放置していたことです。ですが中学に上がってしばらくすると意識しはじめました。

最初の転機は十四歳の挑戦です。つざわ津田病院に行つて高齢者の方と一週間触れ合いました。最初は話すことに苦労しましたが徐々に慣れていきました。しばらくしてコミュニケーションの楽しさが分かりました。一週間が終わると苦手だったことが楽しさに変わったんだなと感じられるようになり今では福祉に興味も沸くようになりました。今年の夏休みはサマーボランティアに参加して、高齢者の方や障害者の方と触れ合いました。たくさん話すととても楽しそうにしてもらえました。ほっとはうす千羽さんと福祉作業所あけぼのさんの所へ行きました。ほっとはうす千羽さんの所では主に高齢者との会話を中心にすごしました。積極的に話しかけてあげるとすごく嬉

しそうにしていました。最近になって人と接することはこんなにも楽しいんだ!!ということ学びました。次に福祉作業所あけぼのさんに行きました。ここでは障害をもっている方が仕事をする場だそうです。障害があるからといって働くことができないわけではない人が私達が見ていない裏で仕事をしています。立派な社会貢献だと分かりました。障害者の方とはじめて触れ合つてみて分かったことは普通のひとあまり変わらないということです。障害者の方は少し生活が不便かもしれませんが遊んだり会話してみるとクラス

の友達と同じでした。このことを福祉に興味のない人へ伝えていつて親しむことができたかなと思います。

私はこれらの福祉ボランティアに参加して今まで全く興味のなかった人と接することがとても大切なことなんだなと実感できるようになりました。また将来は福祉に関する職に就こうと思っています。自分が何かをすることによって誰かが笑顔になってくれるならどんなに幸せか。実際に現場に立つてもこの思いは忘れないようにしたいです。福祉をもっと多くの人に知ってもらえるようにボランティア等これからも積極的に参加していきたいです。

善意の窓

(順不同・敬称略)

(令和元年十月十八日〜令和元年十二月十七日受付分)

◇一般の福祉事業へ

《金員預託》

・小矢部市老人生きがいセンター

木工芸部

・匿名

・石動西部地区ヘルスボランティア一同

・小矢部市農業組織協議会 水稻部会

・ユニー(株)ピアゴ小矢部店

・小矢部市連合婦人会

《物品預託》

・ユニー(株)ピアゴ小矢部店

◇指定預託

《金員預託》

・小矢部市連合婦人会

《物品預託》

・石動青葉保育園

・小矢部市連合婦人会



小矢部市連合婦人会 寄付
「愛の一品運動」

三〇、〇〇〇円

一五、八一五円

一〇、〇〇〇円

一〇、〇〇〇円

五、〇〇〇円

令和元年度 第2回

小矢部市民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、地区社協合同研修会 を開催します

日 時	令和2年2月29日（土）13:30～
会 場	市総合保健福祉センター 3階 大会議室
演 題	「地域福祉の宝～民生委員児童委員」
講 師	金城大学 社会福祉学部 教 授 内 慶瑞 氏



《対 象》 民生委員・児童委員、主任児童委員、
高齢福祉推進員、地区社会福祉協議会

【問合せ】
小矢部市社会福祉協議会
TEL 67-8611



地域でより良く暮らすために ～ 介助ボランティア養成講座 ～

受講者
募集!

障がいのある方が、社会参加や余暇活動を通して、地域で自分らしく過ごすことができるよう支援する介助ボランティアを養成します。障がいについて正しい知識を持ち、周囲に理解を促すことで、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会の実現を目指します。

【日時・内容】	第1回 令和2年1月23日（木）	障がいについて《身体編》
	第2回 令和2年1月30日（木）	障がいについて《知的編》
	第3回 令和2年2月6日（木）	障がいについて《精神編》
	第4回 日程調整中	施設見学・実習
	いずれも、14:00～16:00	

【会 場】 市総合保健福祉センター 3階 視聴覚室
(小矢部市鷺島15番地)

【受 講 料】 無 料

【申 込 締 切】 令和2年1月20日（月）



【申込み・問合せ】
小矢部市社会福祉協議会
TEL 67-8611

つぶやき

「令和」も2年目を迎えました。新しい年号にも、すっかり慣れましたね。

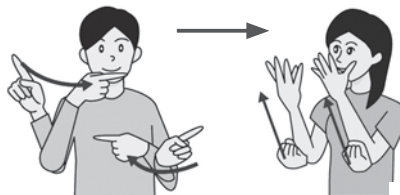
今年の干支は、「子」。最近、干支を言えない人が増えてきているそうです。「ね、うし、とら、う、たつ、み、うま…？」で止まる人が多いそうです。

新しいことに慣れていくことも大切ですが、古いことこそ伝え、残していきたいものですね。



◇ ぶち・手話コーナー ◇

『あけましておめでとうございます。』



1月1日・正月 + おめでとう

今年も「手話」をお届けします。

「がんばる」は、「元気」の意味もあります。「元気ですか?」とたずねる時にも使えます。



頑張ろう♪